

論文問題は教育課題を踏まえた文科省および各自治体の教育目標および教育施策に関連して出題される

教育課題

①学力向上(授業改善)

「知識基盤社会」の到来、グローバル化、情報化、少子化、高齢化、社会全体の高学歴化等、社会構造の大きな変動期。

なぜ学力向上が求められるか
求められる学力とは何か

学力とは何か（文科省）

確かな学力
真の学力
実践的指導力

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

心豊かにたくましく
生きていく基盤
「生きる力」

情報活用能力 ⇒ 課題発見・問題解決能力を支える基盤（文科省）

言語能力 ⇒ 学力を支える重要な要素（文科省）

国立教育政策研究所：自分の考えを他者に伝える能力に課題

2020新学習指導要領に反映（文部科学大臣）

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や、言語能力、情報活用能力育成のための指導の充実
学校における一人一台のコンピュータの実現等のICT環境の整備と効果的な活用等

単に知識習得の学習ではなく主体的・対話的・深い学びを実現する学習
「思考力・判断力・表現力等の育成」が求められる

2022 4/20 東京新聞

2023 4/19 読売新聞

2022年(令和4年)4月20日(水曜日) 12版 社会 24

小6・中3に学力テスト

「思考力・表現力」問う

理科4年ぶり

小学六年と中学三年の全
員を対象にした文部科学省
の「全国学力・学習状況調
査」(全国学力テスト)が
十九日、一斉に行われた。
国語と算数・数学に加えて
四年ぶりに理科も実施。知
識を活用して「思考力・判
断力・表現力」を測る設問
が目立った。児童生徒や学
校に学習状況を尋ねる質問
紙調査も、新型コロナウイルス
ウィルスによる影響がない
かどうかを調べる。結果は
七月下旬に公表する。

文部省によると、参加学
校は全国の全公立小学校
の46.3%で、小学校は
万九千七校の約百五十千
人、中学校は九千八百十
六校の約百四十人、主
体的に「対話的・深い学
習」を掲げた新学習指導要領が
小中学校で全面実施され、
中・高学年から新指導要領
に基づき出題された。
中国語は文書作
成ソフトを使った授業を題材
に、ウェブページや動画
を適切に引用できるかを問
う。小・中・高学年は新指導
要領で導入されたプログラ
ミングに関する問題が初め
て登場。理科は素養や観察
力を測る。身近なものを取り
上げた設問も多かった。
文科省は、新型コロナウイルス
拡大から初の全国学力テスト
だった〇二一年の結果
について、調査結果と対
比分析し「休校期間が短
い学校と長い学校の間で
正答率に大きな差はない」
と結論付けた。今回も学校
指定している。

東京部の小
学テストは
四月一日に
実施され、
中学校は
四月三日に
実施され、
結果は七月
下旬に公表
される。

14版 社会 36

学テ 問題解決力問う

中学英語4年ぶり実施

小6・中3対象

小学六年と中学三年の全
員が参加する全国学力・学習状況
調査(全国学力テスト)が18日、行
われた。国語や算数・数学のほか、中
学では4年ぶりに英語のテストが実
施された。〈問題と正答例特別面〉

全国学力テストの英語「話す」
テストに臨む中学生(18日、東
京都内の中学校で) 一代表撮影

今日のテストでは各教科
で、資料や文章を基に問題
を解決する力や、日常生活
の場面で考察する力をみる
問題が目立った。
中学の英語では、ロボッ
トの活用に関する英文を読
ませ、生徒に自分の考えを
英語で書かせた。英文の要
旨を4択から選ぶ問題もあ
り、生徒に読む力が不足し
ているのか、読解はできて
いるが書く力が足りないの
かを分析できるようにし
た。

中学の英語では、学習指
導要領の改定でデータの分
布を表す「箱ひげ図」が高
校から中学の学習に移り、
出題された。イチヨウの葉
が色づく時期について、年
代によってどのような変化
があったかを一つの図を考
察して記述させた。
小学校の国語は、日常生
活を題材にした。運動や食

事に関する内容を
み、わかったことやこれか
ら自分ができるようなこと
について、80字以上100字
以内で書かせた。

◇
中学英語の「話す」テス
トは今回、生徒が1人1台
の学習用端末を使い、初め
てオンライン方式で実施さ
れた。コンピュータで出
題・解答するCBT方式が
活用され、文部科学省は今
後、他教科にも広げていく
としている。

児童生徒向けに生活習慣
を聞く質問紙調査は202
4年度、テストに併せて実
施される。

中3英語

員を対象にした文部科学省
の「全国学力・学習状況調
査」(全国学力テスト)が
十九日、一斉に行われた。
国語と算数・数学に加えて
四年ぶりに理科を実施。知
識を活用して「思考力・判
断力・表現力」を測る設問
が目立った。児童生徒や学
校に学習状況を尋ねる質問

学力とは何か (文科省)

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

12版

英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送附されま
した。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring out meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

(注) photo: 写真 even if: たとえ...でも apartment: アパート agree with: ーに賛成する

(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- 4 Robots can change many people's lives for the better.

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡単に書きなさい。

なぜ学力向上が求められるか

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

生きる力

教育課題②

児童・生徒の健全育成（いじめ、不登校、自殺、特別支援教育など）

令和5年度小中高いじめ認知件数

【全国児童・生徒数 小：605万 中：318万 高：292万】

732,568件（前年度より50,620件増） 1,000人当たり57.9件

重大事態1,306件（前年度より387件増）

令和6年度小中高自殺件数

527件（令和7年2月）

これからの社会と国民
の求める学校像

- 心豊かに、たくましく生き抜いていく基礎を培うこと
- 必要な学力や体力、道徳性等を確実に育成する質の高い教育

キーワード：自己肯定感 自尊感情など

どう育むか具体策が
問われる

自己肯定感について

多くの自治体で出題されている

自己肯定感を高める

自己肯定感を高めるためには人や社会に役立っていると感じさせる教育を行う

自己肯定感の高い生徒はいじめや自殺と無縁である

学校の役割とは

子供を幸せにすること

自己肯定感

子供の幸せとは

愛され、ほめられ、人の役に立ち、必要とされること

私の実践紹介（荒川区立南千住第二中学校）

皇后陛下
日本赤十字社名誉総裁

日本赤十字社ポスターに採用



苦しみに「気づき」、原因を「考える」。君の「気づき」を「実行」に変える！

「あるべき姿」から
「現実」を引くと
「課題」が見えてくる。

原因を考えると
本来の姿からの差を引くと
足りないものが見えてきます。
その不足を補うための途へ
君の行動で！

Notice Think & Act

教室や部活、通学路や自宅の近所など、君のすぐそばで、
困っている人、苦しんでいる人がいたらどうしますか？
目をそらす、避けます。手を差し伸べる勇気はありますか？
問題を認識し、問題に「気づき」、問題解決の方法を「考え」、自ら解決方法を「実行する」、
青少年赤十字では、しゆの大切さを学び、自分が問題に支えられ生きていくことに目を向け、
日常生活の中で他者を生かす行動を自主的に行い、思いやりの心を持ちます。
君の日常生活の中の「気づき」を青少年赤十字で行動に移してみませんか。さあ、君の出来ることから、始めよう！



日本赤十字社 人間を救うのは、人間だ。Our work, Our lives.

<http://www.jrcr.org/notice/think&act/>



Copyright © 2015 JRCR. All rights reserved.



人間力を育む 中学生の挨拶

主婦 久木田京子 68
(東京都荒川区)

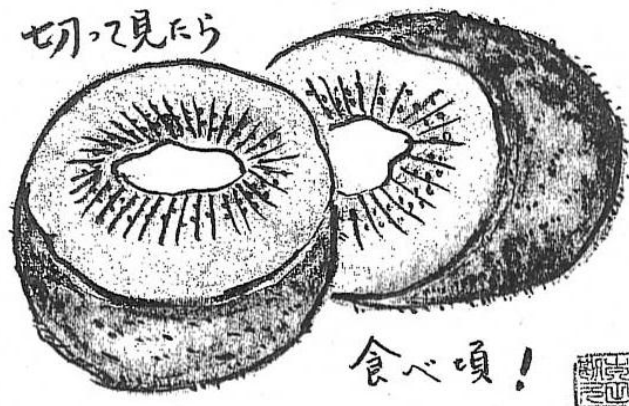
自宅マンションに隣接する中学校では、運動会の前後に開催のお知らせと、騒音のお詫びの書面を生徒が携えて、近隣に笑顔で挨拶回りをしています。中学生が礼儀正しく訪問する姿は、本当に爽やかで、さすがに思えます。

運動会などの行事の音は、たとえ大音量であつても私は騒音には感じないし、迷惑でもありません。でも、体調が悪い方や夜勤

明けの方には、そうでないかもしれません。

生徒さんの丁寧なご挨拶とお詫びの気持ちがその方たちにも伝わるといいです

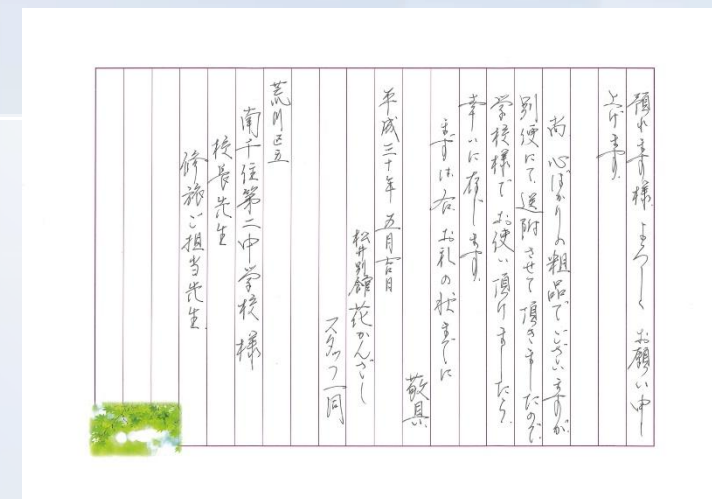
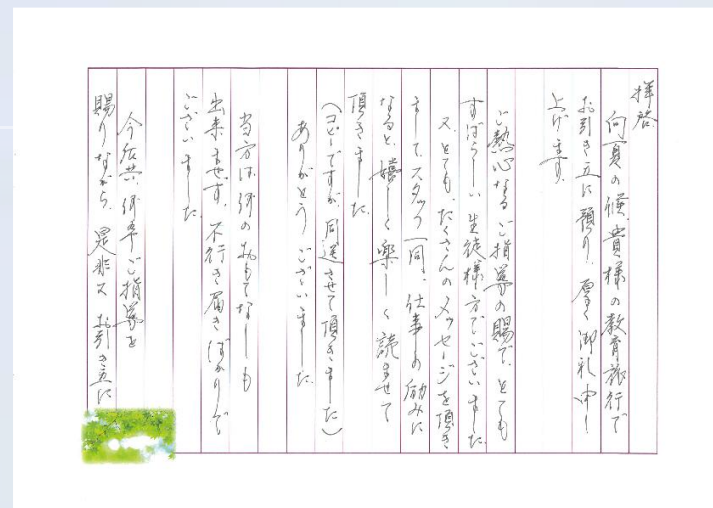
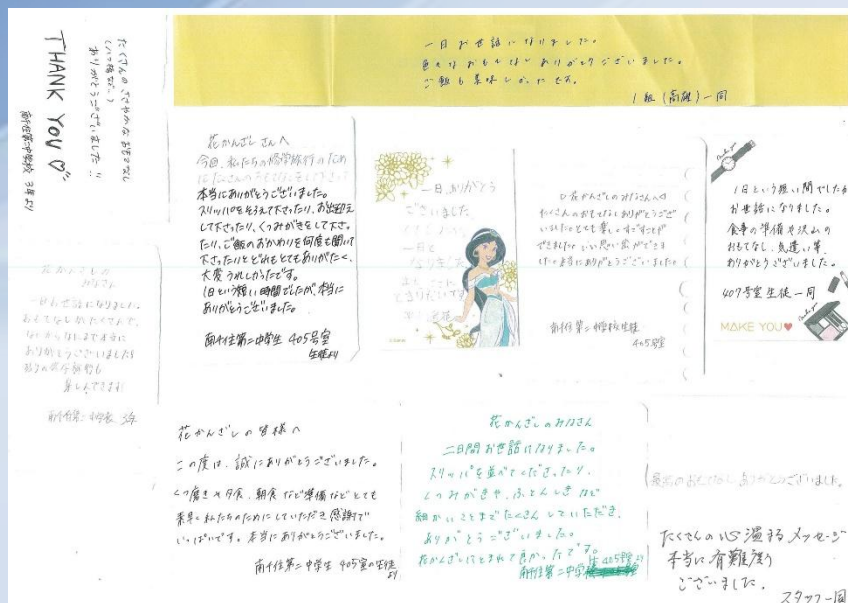
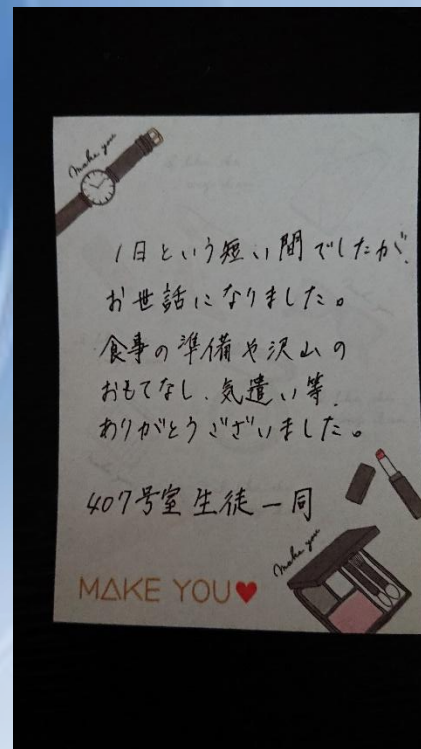
ね。私はその心配りをとてもうれしく思います。学校が、周りとのつながりや配慮という大切な人間力を育んでいると感じています。



私のイラスト

高橋満智子
(川崎市宮前区)

置手紙



学校の役割とは

子供を幸せにすること

子供の幸せとは

愛され、ほめられ、人の役に立ち、必要とされること

自己肯定感

南千住検定



学校は楽しくなければならない

レスキュー部



君たちは大きな子供ではない
小さな大人である

規範意識、いじめ、人権、豊かな心、思いやり、
自己肯定感、たくましく生きる力……

規範意識を育むためには、児童（生徒）に小さな大人であるという自覚を持たせることが大切である。

いじめの芽を摘むためには互いを認め合い、思いやりの心を育むことが重要である。
そのためには児童（生徒）に小さな大人であるという自覚を持たせることが大切である。